

女性疾患と先進医療技術



# 子宮筋腫について

---

新須磨病院

婦人科

福西 秀信

# 子宮筋腫とは何でしょう

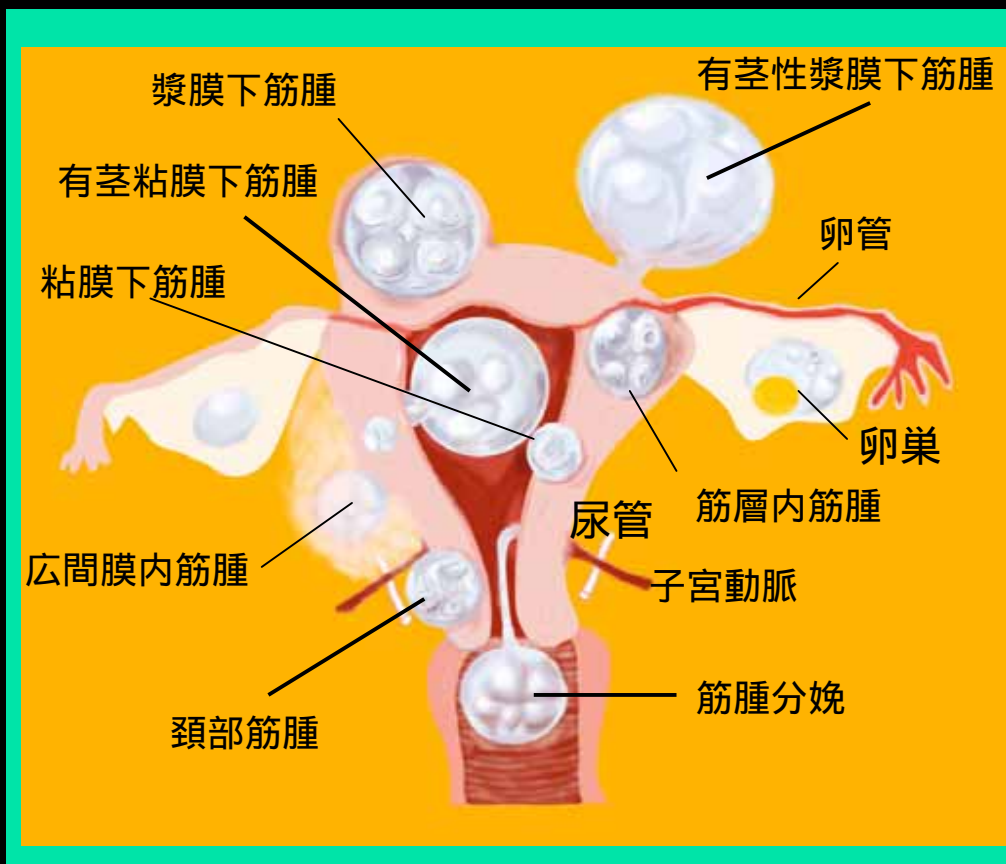
子宮筋の中あるいはその周辺に存在して

1. 平滑筋で構成された腫瘍
2. 多くは多発性に発生

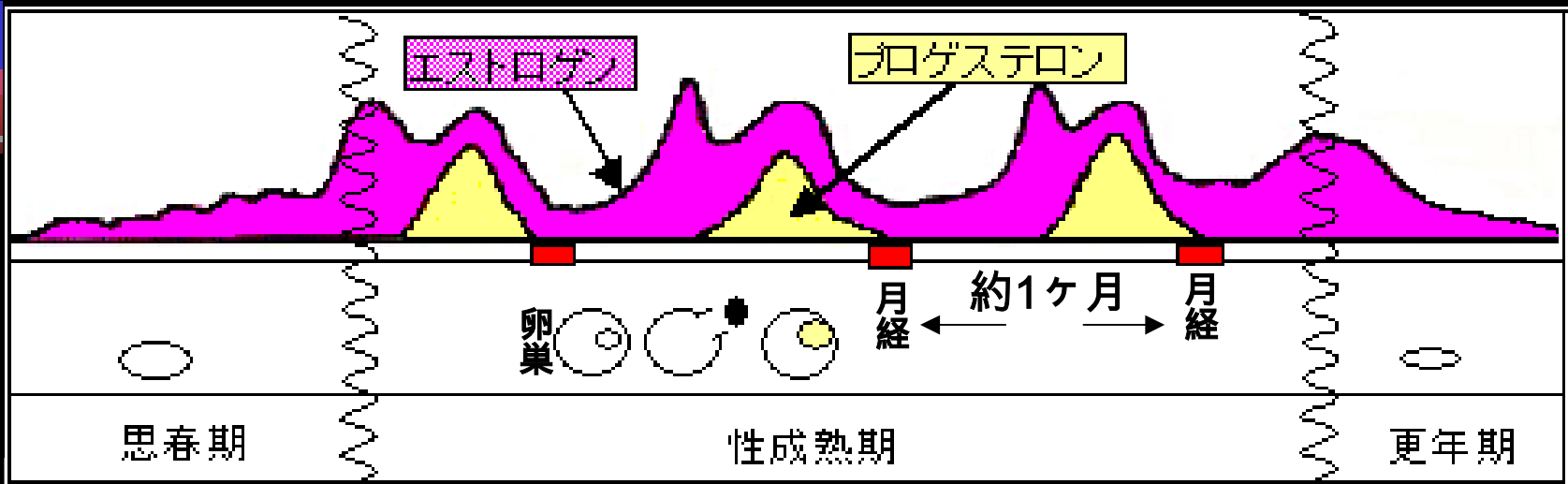
英語での表現は

myomas, fibroids, fibromyomas,  
leiomyofibromas, fibroleiomyomas.  
など

20歳以下に見られることはきわめてまれ。  
35歳以上の約4人に1人は筋腫を担つ。  
閉経期以降に筋腫が発育することはまれ。



# 筋腫はどうして性成熟期に大きくなるのかしら



## 子宮筋腫とエストロゲン

1. 20歳未満の発生は稀。
2. 性成熟期になって発育
3. 妊娠によって増大傾向。
4. 両側卵巣摘出術後は縮小。
5. GnRHaで縮小。
6. 閉経後は縮小傾向。  
(藤井信吾 臨婦産 45:1164,1991改変)

実際にはエストロゲンを測定してみても高値ではない。

Estrogen receptors are present in higher concentration in uterine myomas than in adjacent myometrium.

(Farber M. et al. Obstet Gynecol 40:470-86,1972)

## 子宮筋腫とプロゲステロン

1. 閉経後婦人のHRTの筋腫に及ぼす影響  
プロゲステロンの量が増えると  
筋腫の増大傾向がある。  
Polomba,S: Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol  
102: 199-201, 2002.  
Polatti,F: Maturitas 37: 27-32, 2000.

2. 筋腫患者にプロゲステロンを投与すると  
筋腫細胞の核分裂像が増加する。  
また黄体期には核分裂数は有意に増加する。  
Kawaguchi K, Fujii S, et al. Am J Obstet Gynecol  
160:637-641,1989.

# 子宮筋腫の三大徴候

## 1. 過多月経

内膜の変性壊死、腺性増殖等  
拡大した内膜面、圧迫菲薄化した内膜

## 2. 月経困難症

子宮壁の過度伸展や収縮

## 3. 不妊または不育

この他 圧迫による症状  
「筋腫分娩」による症状

貧血 心悸亢進・呼吸困難・頭痛・  
収縮期性心雑音

# 子宮筋腫の 続発性疾患

## 1. 変性、壊死

ガラス様変性、粘液変性、脂肪変性、  
赤色変性、石灰化

## 2. 感染

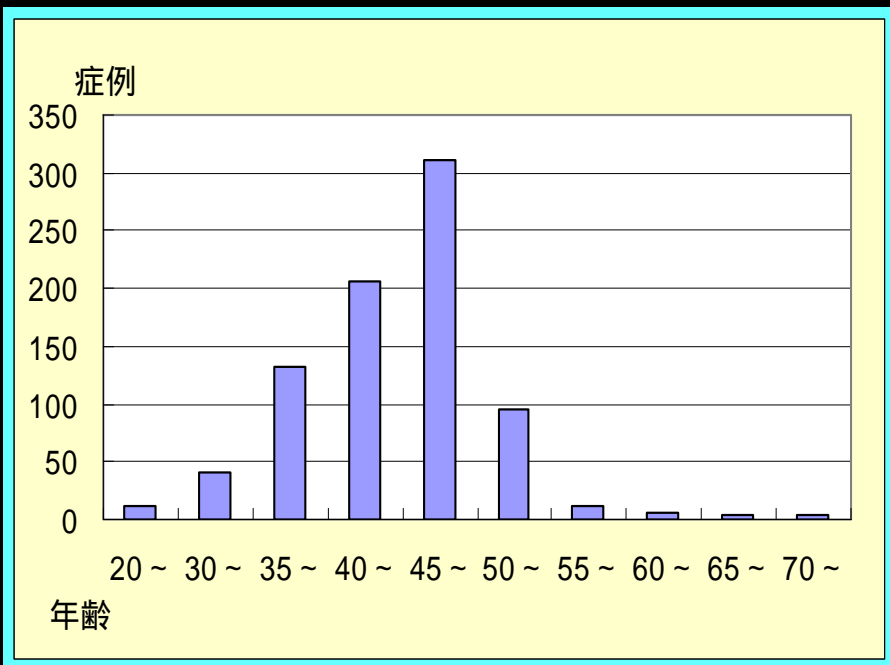
## 3. 茎捻転

## 4. 肉腫への変化

東條伸平 婦人科学提要 金原出版

新須磨病院

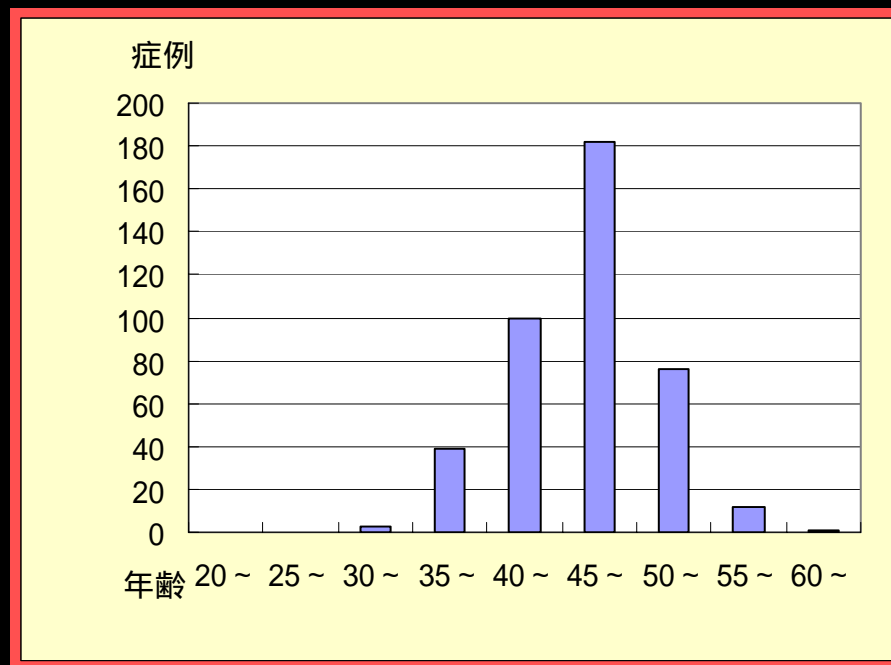
## 子宮筋腫患者(開腹時)の 年齢別頻度(824例)



藤井信吾:日産婦誌35:1166,1983  
臨婦産 64:1164,1991.

**無症状で経過するものがあるから、  
発生頻度を正確に捉えることは困難**

## 子宮筋腫で子宮全摘出術を 受けた症例(413例)の 年齢別頻度



左右田裕生:(1998、4~2005、3)

国立神戸病院・神戸医療センター  
子宮全摘出術(413例)+核出術(47例)  
+経頸管摘出術(33例)=493例

# 子宮筋腫の影響疾患

## 血液疾患

- ・貧血 心悸亢進・呼吸困難・頭痛・収縮期性心雑音
- ・多血症 エリスロポエチン産生筋腫

## 尿路系障害

- ・無尿
- ・無機能腎

## 不妊、不育

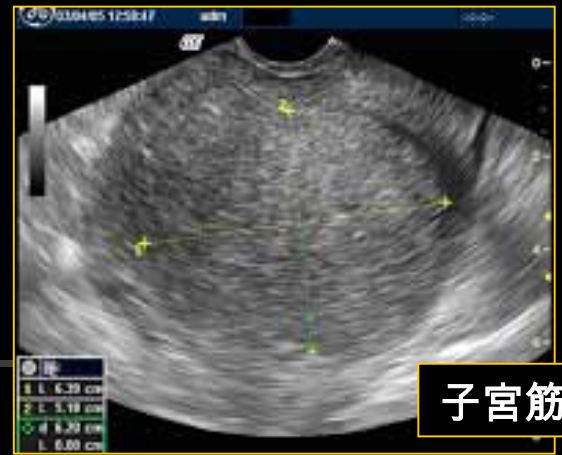
妊娠時の合併症(流早産、胎位異常、胎盤早期剥離、赤色変性)

# 子宮筋腫との鑑別診断

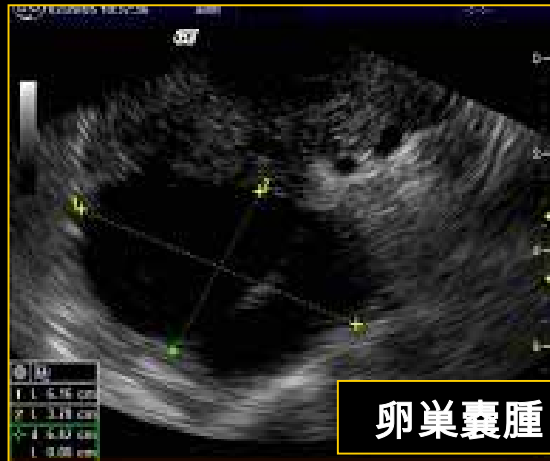


発生部位	鑑別疾患
筋層内	子宮腺筋症、子宮平滑筋肉腫
粘膜下	内膜ポリープ、内膜間質肉腫、 癌肉腫、体癌、妊娠
漿膜下	卵巣腫瘍、腸管腫瘍 静脈に発生する平滑筋腫

# 経膈超音波による鑑別診断



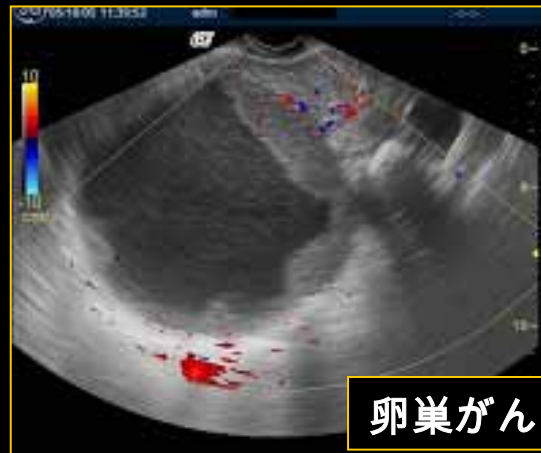
子宮筋腫



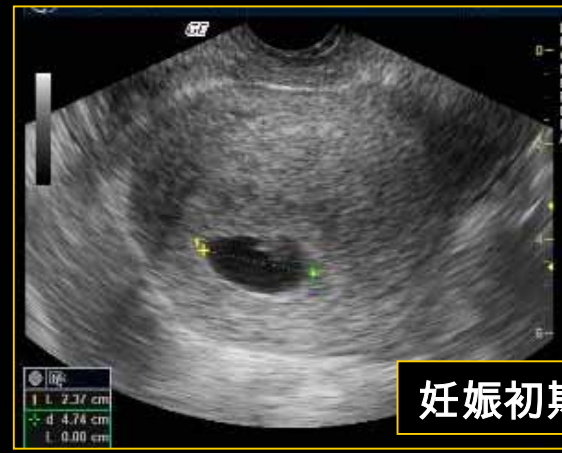
卵巢嚢腫



内膜増殖症と筋腫



卵巢がん



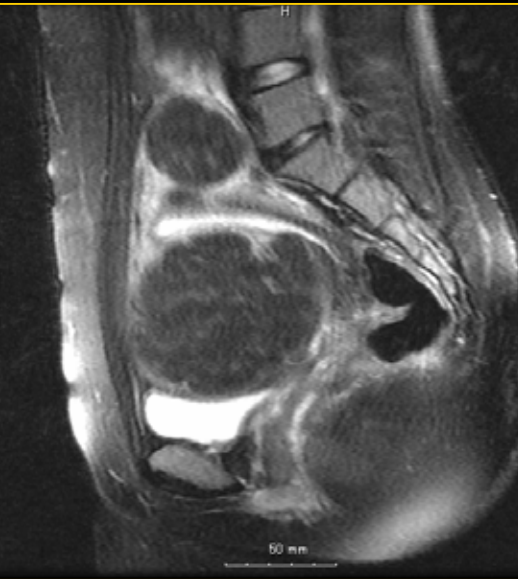
妊娠初期



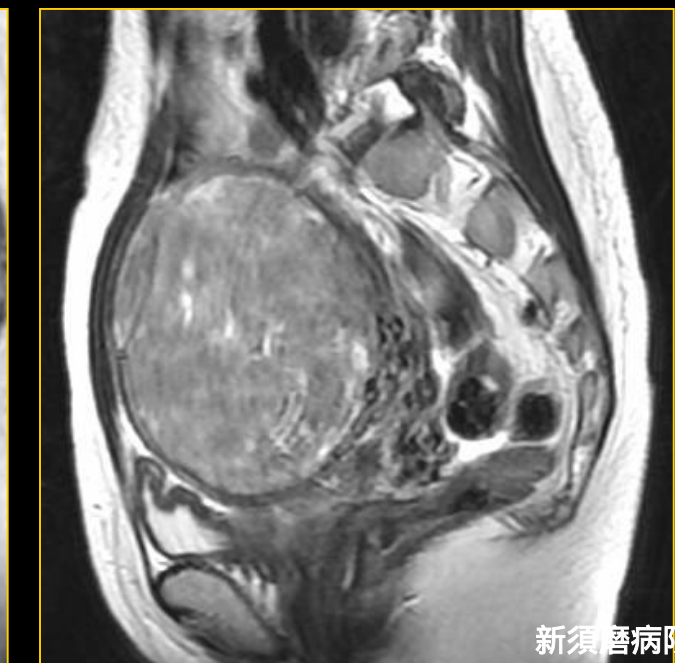
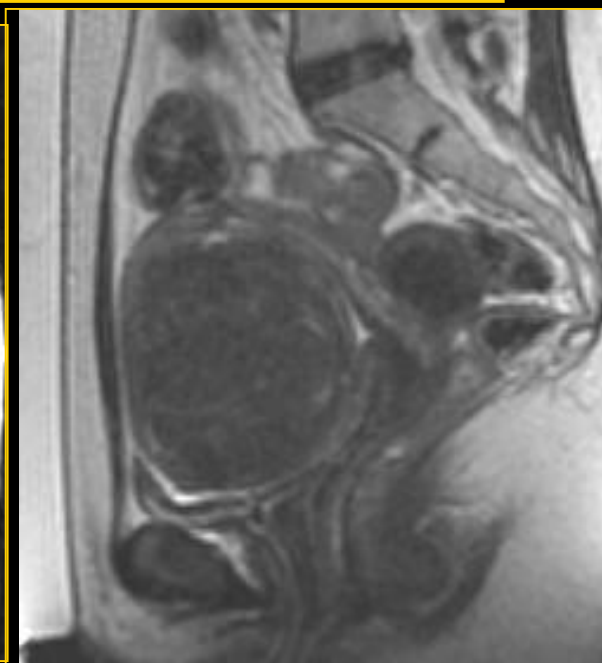
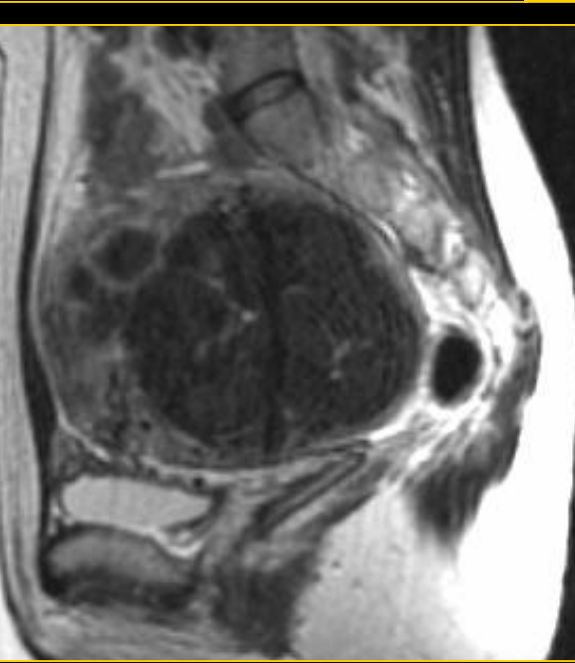
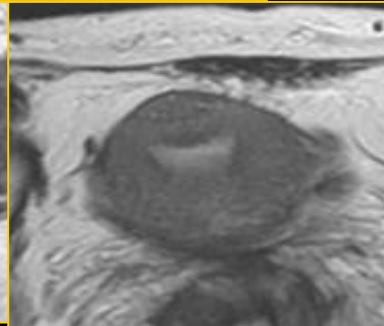
# 子宮筋腫と診断された腫瘍の病理診断

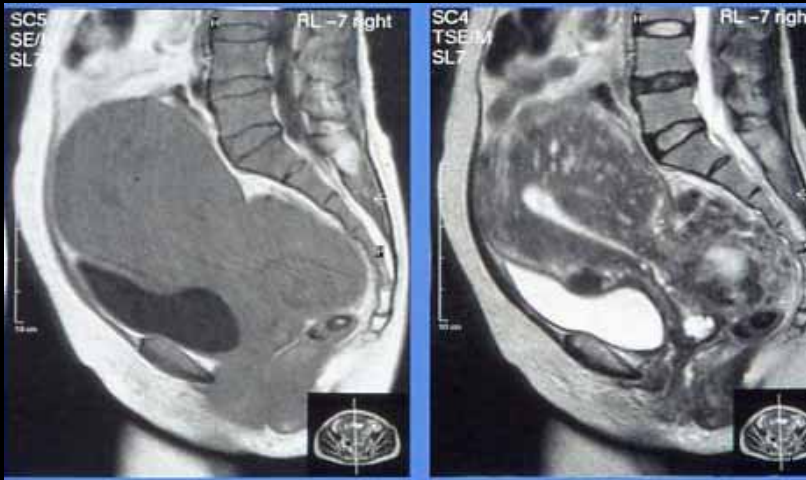
平滑筋腫	673 (94.7%)
細胞性平滑筋腫	17 (2.4%)
異型平滑筋腫	5 (0.7%)
境界悪性病変	5 (0.7%)
平滑筋肉腫	2 (0.3%)
内膜間質肉腫	1 (0.1%)
腺平滑筋腫	2 (0.3%)
腺腫様腫瘍	3 (0.4%)
頸部腺癌	1 (0.1%)
卵巢未分化胚細胞腫	1 (0.1%)
結腸癌	1 (0.1%)

# MRIによる子宮筋腫の診断



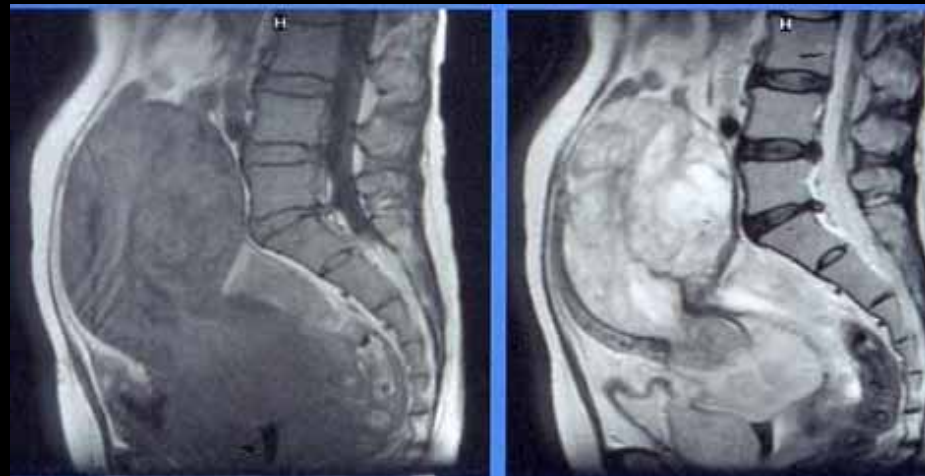
筋腫を認めないとき





50歲 平滑肌肉腫

HY



48歲 平滑肌肉腫

SH



67歲 癌肉腫

MM



47歲 癌肉腫

MN

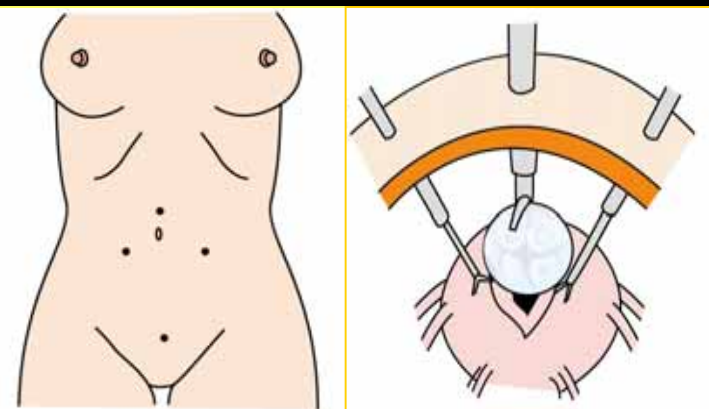


# 子宮筋腫の治療法の選択

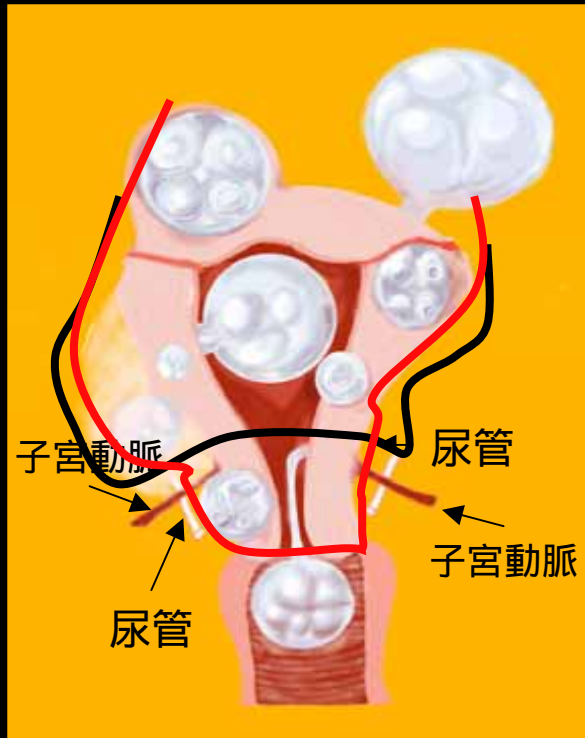
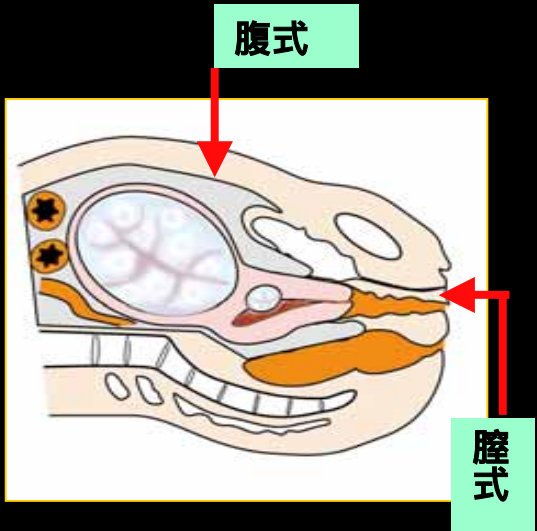
- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 筋腫の大きさや数は</li><li>・ 筋腫発生の部位は</li><li>・ 悪性の可能性は</li><li>・ 開腹術でもよいか</li><li>・ 症状はなにか</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 子供はいるか</li><li>・ なお拳児希望はあるか</li><li>・ 数日入院が可能か</li><li>・ 術後安静が取れるか</li><li>・ 閉経まで待てないか</li></ul> |
|--|--|



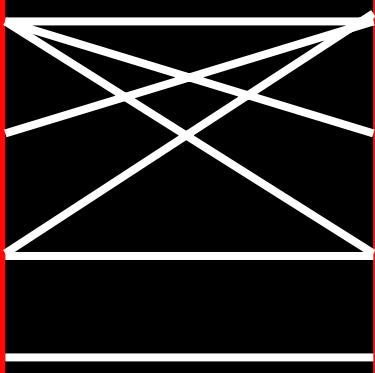
# 子宮筋腫の手術療法



伊熊健一郎 「女性のための腹腔鏡下手術」  
(改変) 知人社 2002



- ・子宮全摘出術
- ・子宮膺上部切断術
- ・子宮筋腫核出術
- ・粘膜下筋腫摘出術



- ・開腹(腹式)
- ・膺式
- ・腹腔鏡下
- ・子宮鏡下

# 手術の合併症

- ・出血 ・感染
- ・創部血腫・離開
- ・尿路、腸管などの損傷
- ・腹腔内癒着
- ・肺梗塞
- ・麻酔による副作用
- ・薬剤による副作用
- ・輸血をした場合の副作用
  
- ・心の問題(性生活など)



# 偽閉経療法 (GnRHアゴニスト療法) GnRHa

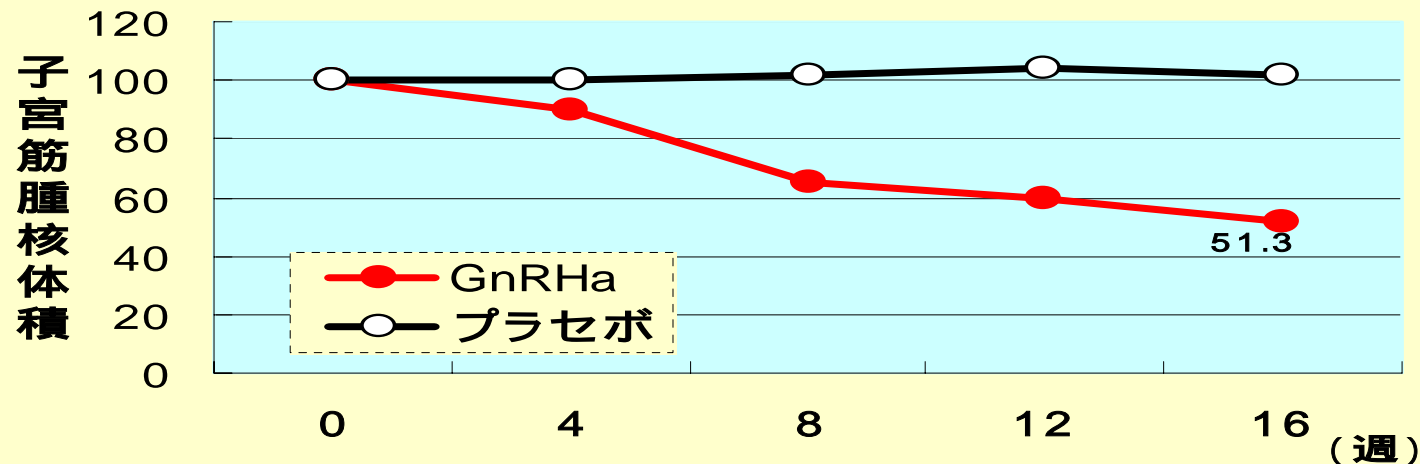
GnRH (gonadotropin releasing hormone) は  
10個のアミノ酸からなるペプチド  
視床下部で産生されて下垂体前葉に  
作用して性腺刺激ホルモンを分泌させる。  
GnRHaはGnRHの構造を一部置換することにより  
性腺刺激ホルモン分泌を抑制 (down regulation)

1. 酢酸ブセレリン (スプレキュア®) (経鼻、注射)
2. 酢酸ナファレリン (ナサニール®) (経鼻)
3. 酢酸リュープロレリン (リュープリン®) (注射)

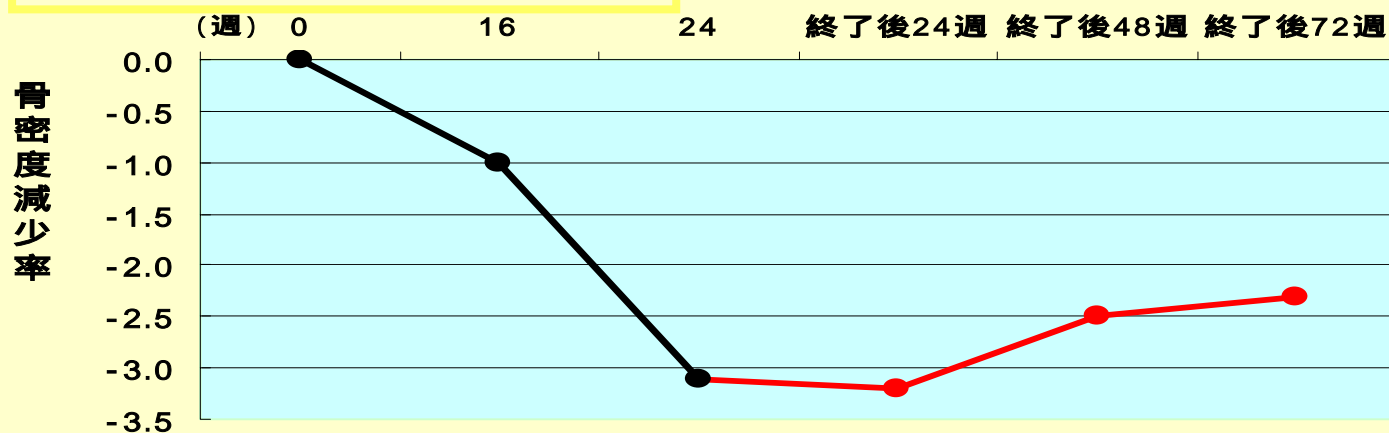
経鼻投与は毎日使用、注射は月に1回の投与



## 子宮筋腫核の体積の推移



## 骨密度に及ぼす影響



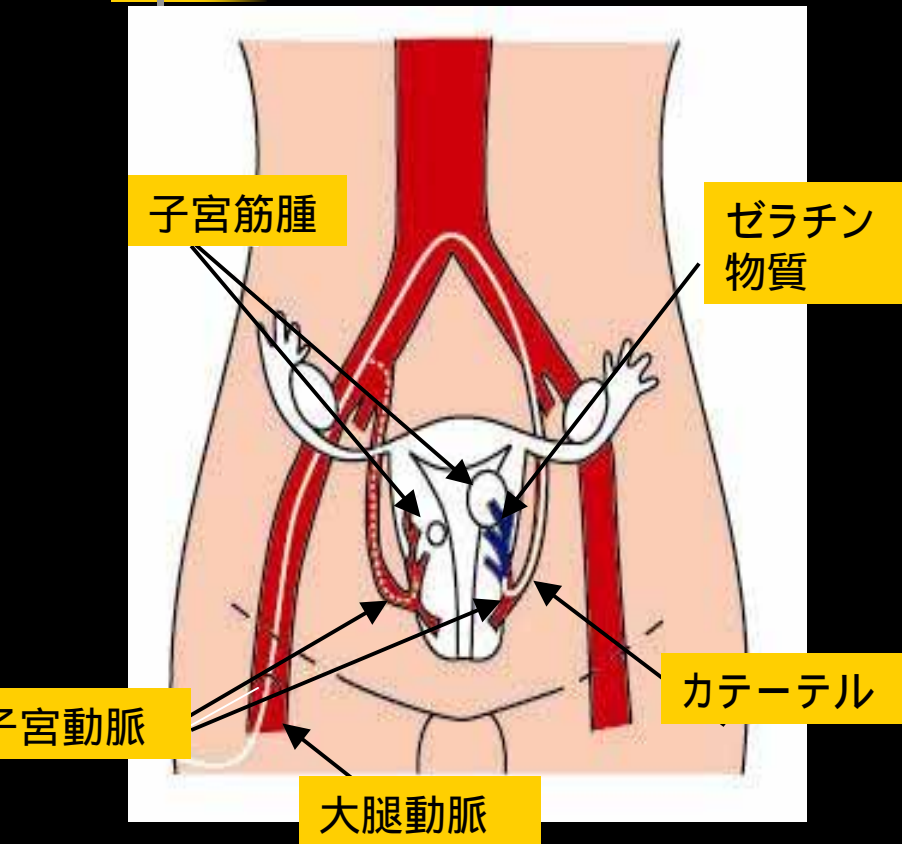




# GnRHa療法の特徴

1. 保存的に子宮筋腫核を縮小できる。
2. 治療前処置として、または自然閉経が近いときに有効性が高い。
3. 効果が一時的で、中止後再増大の傾向。
4. 更年期障害様の症状がでることがある。
5. 骨塩量の減少を引き起こす。  
このため6ヶ月の連続使用を限度とする。

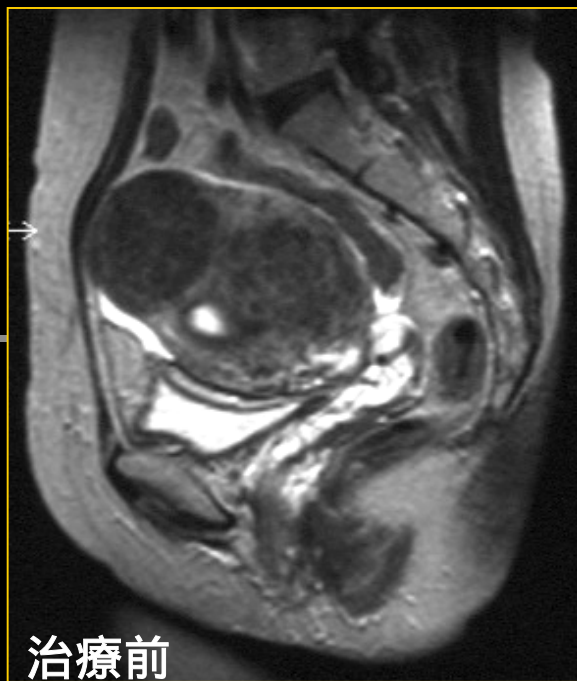
# 子宮動脈塞栓術療法 (UAE)



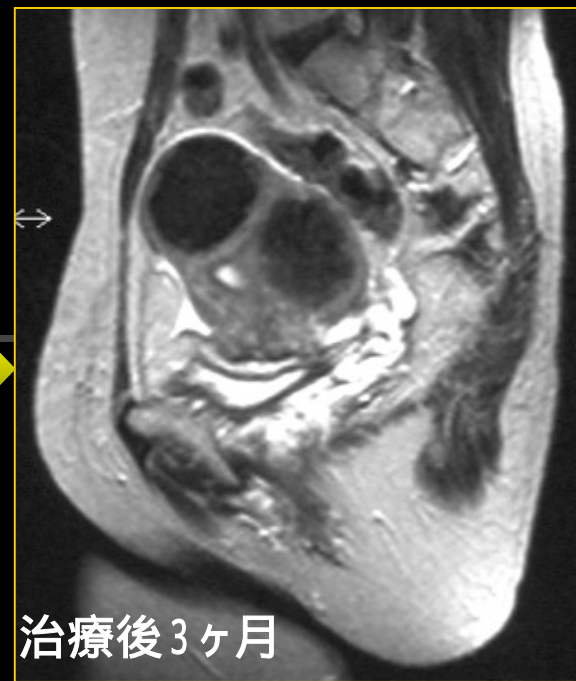
大動脈造影

術前後MRI  
(T2強調  
矢状断)

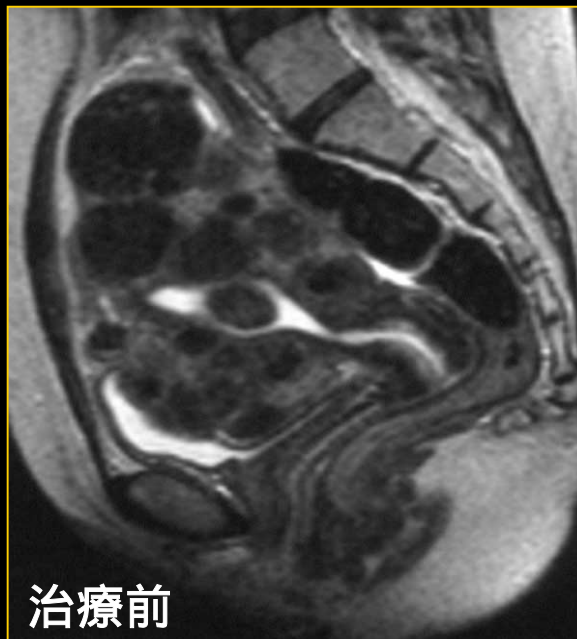
症例1  
45歳



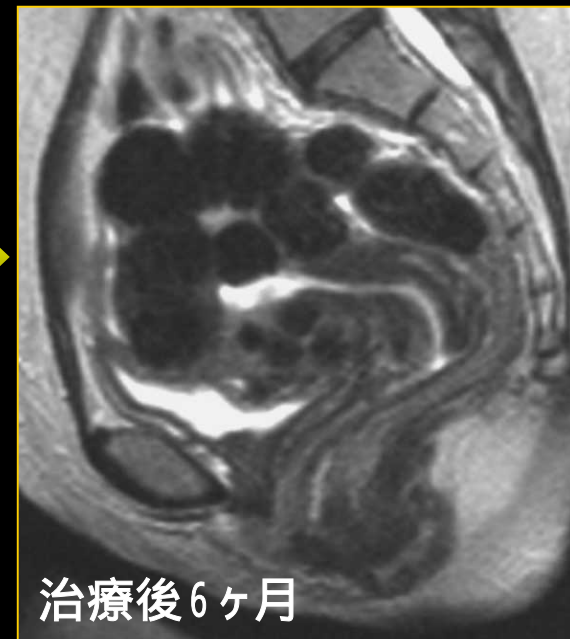
39.1%



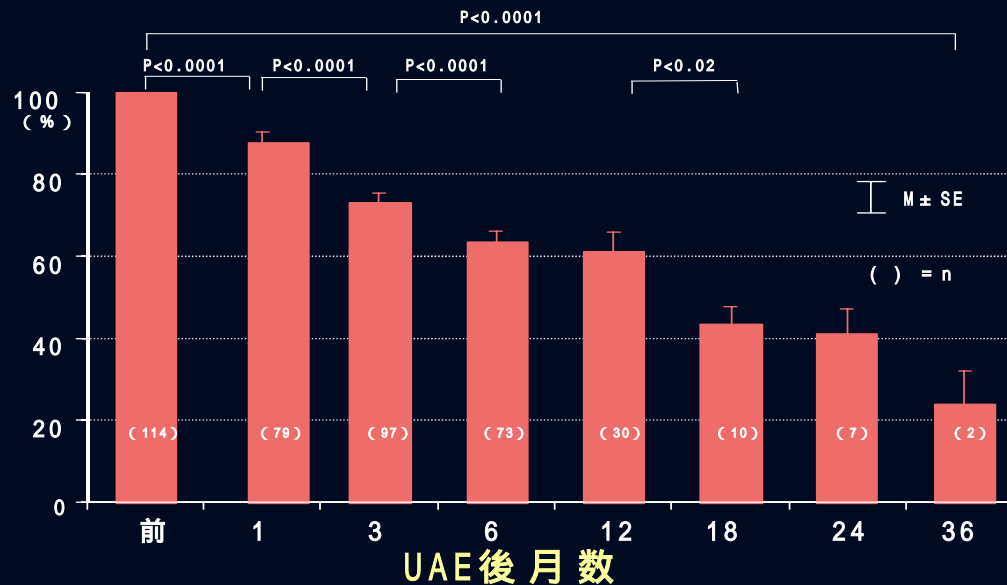
症例2  
40歳



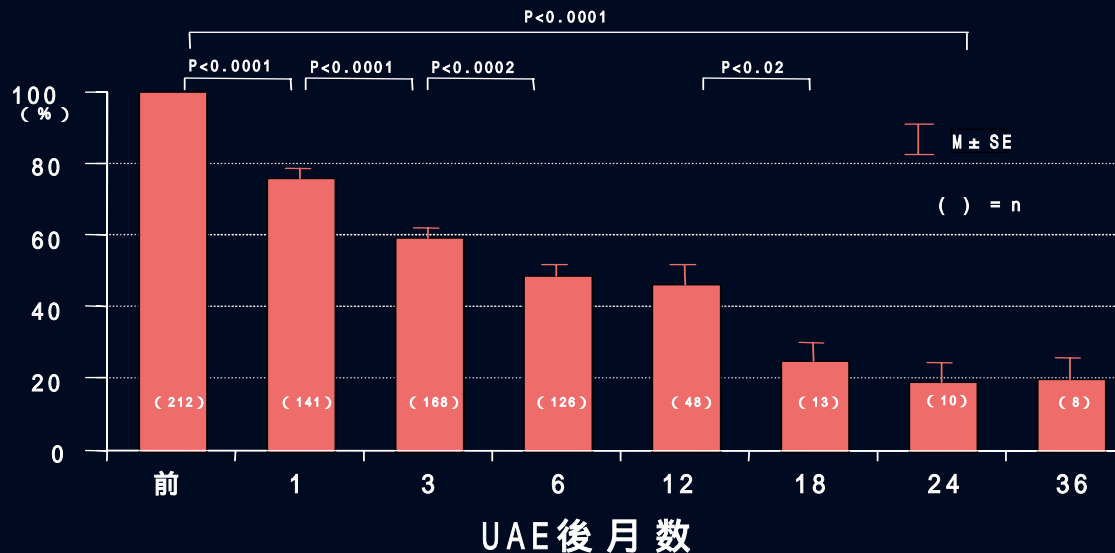
38.7%



# UAE施行前後の子宮体積の変化



# UAE施行前後の筋腫核体積の変化





# 子宮動脈塞栓術(UAE)の特徴

- ・ 子宮は温存できる(ときに例外あり)。
- ・ 子宮筋腫核を縮小する。
- ・ 自覚症状が改善する(90%)。
- ・ 腹壁に傷をつけない。
- ・ 入院日数が短い(3-5日)
- ・ 放射線の透視下に処置される。
- ・ 術後の疼痛(激痛)がある。
- ・ 術後感染、出血の可能性がある。
- ・ 塞栓後症候群がみられる。
- ・ 卵巣機能不全の可能性(2-14%)。
- ・ 健康保険不適。